



あなたは「ねこ」と聞いて、なにを思い浮かべますか？かわいいペット？大切な家族？もしかすると「迷惑な動物」と答える方もいるかもしれません。今回は、そんな「ねこ」の問題の背景・現状をお伝えし、「ねこ」の適正な飼育について考えていきたいと思います。

猫の問題の背景と現状



近年、南風原町では、猫を原因とする次のような問題が増加しています。

- ・朝に出したごみが荒らされる
- ・庭への糞尿等の環境被害
- ・他の猫との喧嘩や発情時期の鳴き声

猫がこのような苦情相談の対象となっているのはどうしてでしょうか。その背景として、本来室内で飼育されるはずの猫が屋外で飼われていること、無責任な餌付け、飼育放棄された飼い主のいない猫や子猫（以下「野良猫」）の発生が挙げられます。またその猫のほとんどに避妊・去勢手術（以下「不妊手術」）が施されていません。このような猫が増え続けることで、地域を汚してしまったり、別の猫を呼び集めてしまうなどの問題が起こり、住民間トラブルを引き起こすこともあります。

一見するとトラブルの原因は猫にあるように思えます。しかし元をたどると、無責任な餌やりや屋外飼育など、私たち人間の間違いや認識や行動、考えにより引き起こされるトラブルとも考えられます。



ごみを荒らす猫



増えすぎてしまった猫

猫の殺処分の現状

沖縄県動物愛護管理センターでは、動物愛護と適正飼養の普及啓発、犬猫の譲渡会の開催のほか、捨てられてしまったり、迷子になってしまい飼い主の元へ帰ることができなかった犬猫の殺処分がやむなく行われているのが現状です。



	平成29年度	平成25年度
収容された猫	1,254 匹	3,017 匹
譲渡・返還猫	198 匹	159 匹
殺 処 分	1,056 匹	2,851 匹

平成25年度と平成29年度の猫の殺処分数を比較すると、その数は減少しています。理由として、迷子になった犬猫の積極的な譲渡活動や、動物愛護団体による新しい飼い主探しの取り組み強化が、殺処分の減少につながったと考えられます。

～猫を正しく飼いましょう～

① 完全室内飼育

室内飼育のメリットとして、交通事故の危険回避や感染症予防、ご近所トラブルや行方不明の防止などがあります。

② 健康管理

普段から猫の様子をチェックし、「食事をとらなくなった」「尿の様子がいつもと違う」などの体調の変化に気付いたら、すぐに動物病院に相談、受診するようにしましょう。



③ 不妊・去勢手術

猫は繁殖力が高く、めす猫は早くて6ヶ月で子猫を産めるようになります。また、年間で3回の出産ができ、1度の妊娠で平均5匹の子猫を産みます。子猫を望まないのであれば、必ず不妊・去勢手術をしましょう。



④ 飼い主とのスキンシップ

室内飼育されている猫の場合、社会や他の動物との接点がないため、毎日コミュニケーションをとる必要があります。話しかけたり、なでたり、おもちゃで遊んだりすることが室内飼育の猫には必要です。



「ねこ」と「ひと」共生をめざして



野良猫は、飼っている猫の「終生飼育」、「不妊手術」、「屋内飼育」、「所有者明示（身元の表示）」等の適正な飼育管理が普及すれば、次第に減少すると考えられています。しかし、このような適正な飼育方法が広く普及するには、ある一定の時間を要します。その間、まさに今存在している野良猫の問題を解決する手法の一つに「地域猫活動」があります。

沖縄県内では、地域猫活動を進めている地域や自治会、自治体が増えてつつあり、具体的な取り組みとして「野良猫への不妊手術（TNR）」や「地域で猫を適正管理」などがあります。南風原町においても、今後「地域猫活動」について調査を行い、地域住民や自治会、ボランティア等の協働のもと実施できるか検討したいと考えています。

【お問い合わせ】
住民環境課 生活環境班
☎089-11797